

充電ケーブルについて



コントロールボックス付
AC200V(15A)専用充電ケーブル

普通充電はAC200Vを推奨しており、標準装備の充電ケーブルはAC200V仕様です。充電ケーブルには充電状況を常に監視するコントロールボックスが接続されています。コントロールボックスが付いていないタイプの充電ケーブルでは、充電することはできません。

●コントロールボックス付充電ケーブルの設定一覧

	EV充電用AC200V(平型)Ⓢ	EV充電用AC100VⓈ	AC200V(丸形)Ⓢ
5m仕様	標準装備	メーカーオプション	設定なし
10m仕様	メーカーオプション	設定なし	設定なし

コントロールボックスの取り扱いについて

ケーブルに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると、コントロールボックスおよび普通充電ケーブルが故障および破損する可能性があります。なるべく、コントロールボックス付属の吊り下げ紐を使用し、フック等に吊り下げてご使用ください。また、コントロールボックスを水につけないようご注意ください。故障や、発熱・発煙、感電などの原因となります。



<コントロールボックスの吊り下げ例>
吊り下げ紐の長さは約50cmです。*フックは付属されておりません。

●コントロールボックス <充電ケーブルの仕様> (5m仕様の場合)



全体の重量	約3.5kg
コントロールボックス単体の重量	約1kg
コントロールボックスの大きさ	約H250×W100×D58mm
コンセント～コントロールボックス間の長さ	約30cm
コンセント～充電ガン間の長さ	約5m
吊り下げ紐の長さ	約50cm

*AC200V・AC100Vとも同形状

充電に関するご注意

1 市販の延長コードやアース変換プラグは絶対に使用しないでください。

●市販の延長コードやアース変換プラグをご使用できません。火災や充電機能不全などのトラブルの原因となりますので絶対に使用しないでください。



2 雨天下での充電は、十分に注意しておこなってください。

●雨や雪の日には、漏電や感電などの事故を防止するため、以下の事項を守り、十分に注意を払って充電作業をおこなってください。

- 充電コネクタや充電ガンを濡れた手でさわらない。
- プラグやコンセント、充電コネクタなどの接続部が濡れないように注意をする。
- 大雨や強風の日、落雷の可能性がある日など悪天候のときは、充電を行わない。
- 充電口を開けたままにしたり、充電ケーブルを屋外に放置しない。
- 雷が聞こえ始めた場合、車両や充電ケーブルには近づかない。

3 EV充電用以外のコンセントは絶対に使用しないでください。

●駐車場やマンションおよびご自宅に設置された一般のコンセントには、絶対に接続しないでください。これらのコンセントは多くの場合、EVの充電に必要な電流を流すことのできない配線および電気回路である場合が多く、過熱や発火等の事態を招く可能性がある他、ブレーカーの作動による電気回路の遮断により、他の電気設備の使用者への損害や、他の電気機器の故障などのトラブルを招く可能性があります。

4 サビやガタ・ゆるみ等のあるコンセントおよび充電ケーブルは使用しないでください。

●コンセントおよび充電ケーブルのプラグ部に、サビやガタ・ゆるみ等がある場合には、充電をおこなわないでください。火災や発熱、ショート等の原因となります。また、充電時、コンセントに異常な発熱がある場合には、ただちに充電を中止してください。

このリーフレットは2011年7月現在のものであり、記載内容は予告なく変更になる場合があります。最新の情報は、三菱自動車EVポータルサイト (<http://www.ev-life.com/>) をご覧ください。
3SXPBJS117(11-07)

MiEV 充電環境設置のために

2011年7月版

三菱の電気自動車をご検討いただき、誠にありがとうございます。
MiEVを充電し、快適にお使いいただくためにお願いしたいことがあります。



電気工事業者様へ

MiEVの充電時は、AC200V・15Aの電力が一定して長時間継続します。また、電源は単相電源を用い、三相電源は用いないでください。なお、設置工事にあたっては本リーフレットの内容に加え、下記の関連する各種法規・ガイドライン等に則り工事仕様を策定の上、設置工事をおこなってください。三菱自動車工業および三菱自動車販売会社は、当該設置工事について、いかなる責任も負うものではありません。

【参考】充電設備設置にあたり、参照・遵守すべき主な法規・ガイドライン

- 電気設備の技術基準の解釈(経済産業省)
- 電気事業法に基づく電気設備に関する技術基準を定める省令(経済産業省)
- 内線規程<(社)日本電気協会>
- 充電設備設置にあたってのガイドブック(経済産業省・国土交通省)
- 電気供給約款(各電力会社)
- EV普通充電用電気設備の施工ガイドライン<(社)日本配線器具工業会>

Drive@earth



下記を参考に、充電用コンセントを設置してください。

100%電気走る電気自動車(EV)には充電できる保管場所が必要です。電気自動車充電用の専用回路(コンセント)がない場合は電気工事が必要となります。下記を参照の上、充電用コンセントの設置をお願いします。EVの充電に適さないコンセントを使用した場合、配線の異常発熱・ブレーカー作動による電気回路の遮断、漏電および感電などのトラブルが発生する可能性があります。また、電気工事は、専門の電気工事業者による適切な工事が求められます。工事についての詳細は、電気工事業者様にご相談ください。

1 EV充電用AC200V(平型)コンセントを設置してください。

MiEVの充電には必ず、「EV・PHEV充電用AC200Vコンセント※」を使用し、1m前後の高さに設置してください。コンセントの設置位置が低い場合、コントロールボックスが地面に接し、水没や踏みつけてしまう等、トラブルの原因となります。コンセントの設置場所が屋外、又は雨水等で濡れる可能性がある場合には、必ず防雨型コンセントを設置してください。
※コンセント規格「日本配線器具工業会規格:JWDS-0033(20A 250V)」

●EV・PHEV充電用AC200Vコンセント



型番:WK4322S(Q)
(パナソニック電工製) **防雨型**



型番:WK3911
(パナソニック電工製) **露出型**

AC100Vでも充電可能です。

●EV・PHEV充電用AC100Vコンセント

普通充電はAC200Vを推奨しておりますが、AC200Vのコンセントが設置できない場合は、AC100Vコンセントもご使用可能です。その場合も必ず「EV・PHEV用AC100Vコンセント(代表型番:パナソニック電工WK4311)」をご使用ください。



防雨型
型番:WK4311S(Q)
(パナソニック電工製)

※AC100Vコンセントのご使用には、メーカーオプションの「AC100V充電ケーブル」が必要です。

2 20A以上の専用分岐回路が必要です。

AC200V・AC100V充電、いずれの場合も、20A以上の専用回路が必要です。また、充電時には大電流(AC200V充電の場合15A[AC100V換算30A])を長時間にわたり消費しますので、必要な電力量を考慮し、電力会社との契約アンペア数および主幹ブレーカー容量の確保をお願いします。

3 漏電遮断器を設置してください。

EV充電用コンセント回路の分岐ブレーカーには、必ず漏電遮断器付を用いてください。漏電遮断器は、漏電による感電事故や火災を防ぐために、漏電を検知すると直ちに電気を遮断するものです。大電流を消費する電気自動車の充電には、必須の機器です。

4 コンセントには必ずアース接続を施してください。

EV充電用コンセントには、必ずアース接続を施してください。アース接続されていないコンセントは、万一の漏電の際に人体を感電から護る仕組みが働かないため、電気自動車の充電には使用できません。

5 標準装備の充電ケーブルは、長さが5mです。

標準装備の充電ケーブルは、長さが5mです。コンセント設置の際は、ケーブルの取り回しを十分考慮の上、設置してください。やむを得ずそれ以上となる場合は、メーカーオプションの「コントロールボックス付AC200V充電ケーブル(10m)」をご使用ください。



普通充電充電口

ケーブル長 5m

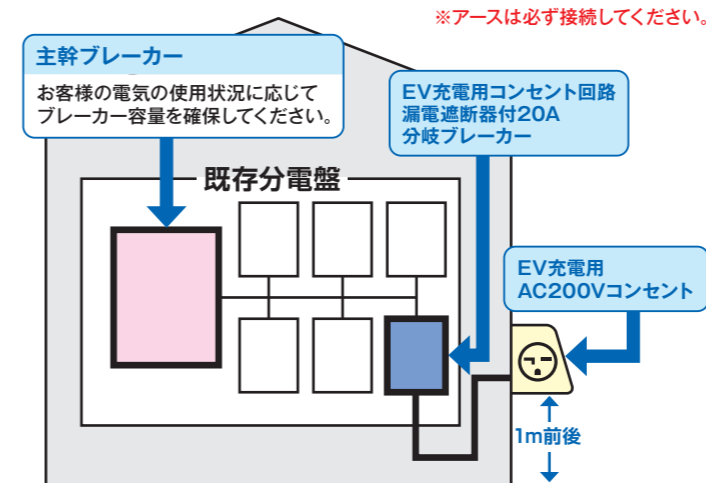


注意事項

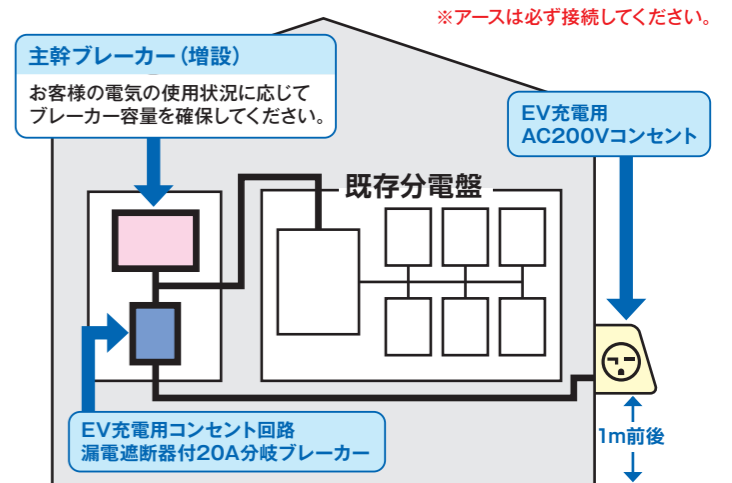
- 複数のコンセントが並列接続されている一般回路を使用した場合、電気回路の過熱および発熱につながる恐れがあります。
- 主幹ブレーカーが作動した場合、住宅全体が停電します。漏電遮断器・ブレーカー作動による全停電が、重大な事故(医療機器ご使用の場合など)に繋がる恐れがある場合には、主幹ブレーカーの一次側からEV充電用分岐回路を設けることを推奨いたします。
- 主幹ブレーカーにも漏電遮断器が用いられている場合、EV充電用回路の分岐ブレーカーよりも主幹ブレーカーが早く漏電を検知する場合があります。この場合、住宅全体が停電します。

充電用コンセント設置工事のイメージ

A 既存の分電盤から分岐する場合



B 主幹ブレーカー増設の場合



充電用コンセント設置工事、工事費について

一般的な工事の内容、費用は以下の通りです。但し、住宅の環境等の設置条件により金額は異なりますので必ずお見積りでご確認ください。

工事内容

- 1 分電盤から専用線を10m配管・配線
- 2 分電盤内のEV充電用コンセント回路に漏電ブレーカーを取り付け
- 3 駐車スペースのご希望場所にコンセントを設置

1～3の工事を実施、工事費:約70,000円

充電用コンセント設置工事のお問い合わせ先

一般の電気工事業者様で工事ができますので、従来よりお付き合いのある電気工事業者様がある場合は、そちらにご相談ください。メーカー指定の業者はございません。なお、全日本電気工業組合連合会では、各都道府県支部において工事相談および工事業者紹介が可能です。お見積りも無料となります。三菱自動車販売店からのご紹介も可能ですのでご相談ください。

全日本電気工業組合連合会 ▶ <http://www.znd.or.jp/ev-charge.html>

充電ケーブル付タイプの普通充電器の設置について

MiEVの普通充電には、充電ケーブル付タイプの普通充電器もご使用になれます。充電器のご購入や設置工事に関しては、各充電器メーカーにお問い合わせください。なお、普通充電器の一部には、MiEVの充電に対応していないものがございますので、ご使用になるMiEVの充電に対応していることを充電器メーカーにご確認の上、機種をご選定ください。

充電ケーブル付
普通充電器の一例
(豊田自動織機製)



急速充電器の設置について



急速充電器の一例
(高岳製作所製)

MiEVの急速充電機能は、チャデモ規格に準拠しております。急速充電器を設置の際は必ず、チャデモ協議会※の認定機種をご選定ください。認定機種以外を使用されますと、火災や故障などトラブルの原因となります。急速充電器のご購入や設置に関しては、各急速充電器メーカーにご相談ください。また、チャデモ協議会では「電気自動車用急速充電器の設置・運用に関する手引書」を公開していますので設置の検討にご活用ください。

急速充電器の設置・運用に関する手引書

<http://www.chademo.com/jp/pdf/QCtebikiRev1.pdf>

※チャデモ協議会とは、電気自動車用急速充電器の充電方式の標準化と、設置箇所拡大を目的に設立された団体です。当社を含めた自動車メーカー各社の他、充電器メーカー、およびこれを支援する企業・行政などにより構成されています。(チャデモ協議会ホームページ▶<http://www.chademo.com/jp/>)